

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-274751

(43)Date of publication of application : 05.10.2001

(51)Int.Cl.

H04B 10/02
H04J 14/00
H04J 14/02
H04B 10/20
H04Q 11/04

(21)Application number : 2001-026470

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 02.02.2001

(72)Inventor : KAKIZAKI JUN
HANATANI SHOICHI
SANO HIROHISA

(30)Priority

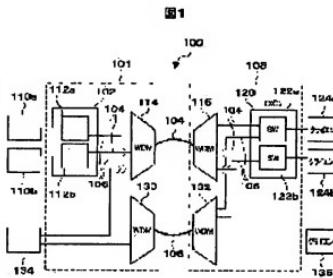
Priority number : 2000 504214 Priority date : 15.02.2000 Priority country : US

(54) FAULT RECOVERY METHOD AND SYSTEM FOR OPTICAL PATH IN WAVELENGTH DIVISION MULTIPLEX NETWORK

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a fault recovery method and system for an optical path, that can apply proper signal switching processing to both signals from clients without a self healing function and self-healing clients.

SOLUTION: A network node 101 in an optical network 100 is provided with a changeover module 102, which switches the optical path of a selected individual signal from an active system fiber 104 into a standby system fiber 106, before multiplexing a signal from a client with other signal for the fault recovery of an optical path. Thus only a signal from a client 110a-b, having no self-healing function is switched and the client 134 with the self-healing function, is allowed to apply its own protection switching processing to the signal from itself.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-274751
(P2001-274751A)

(13)公開日 平成13年10月5日 (2001.10.5)

(51) Int CL' H 04 B 10/02
H 04 J 14/00
14/02
H 04 B 10/20
H 04 Q 11/04

識別記号

F I
H 04 B 9/00
H 04 Q 11/04

テ-マコ-ト[®] (参考)
H
E
N
M

審査請求 未請求 請求項の数40 O.L. (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願2001-26470(P2001-26470)
(22) 出願日 平成13年2月2日(2001.2.2)
(31) 優先権主張番号 0 9 / 5 0 4 2 1 4
(32) 優先日 平成12年2月15日(2000.2.15)
(33) 優先権主張国 米国(US)

(71) 出願人 000005108
株式会社日立製作所
東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
(72) 発明者 柏崎 順
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町216番地 株
式会社日立製作所通信事業部内
(74) 代理人 100087170
弁理士 富田 和子

最終頁に続く

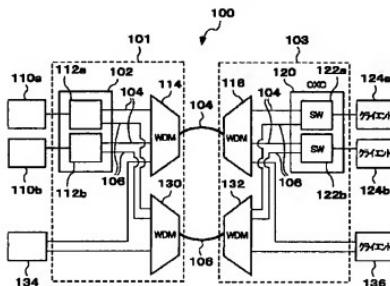
(54)【発明の名称】 波長分割多重ネットワークにおける光バスの障害復旧方法及びシステム

(57)【要約】

【課題】セルフヒーリング機能を持たないクライエントとセルフヒーリングクライエントとのいすれからの信号についても適切な信号切替処理を可能とする光バスの障害復旧方法およびシステムを提供する。

【解決手段】光ネットワーク100において、ネットワークノード101は切替モジュール102を備え、切替モジュール102は、光バスの障害復旧のために、クライエントからの信号を他の信号と多重化される前に、選択された個別信号の光バスを波長レベルで現用系ファイバ104から予備系ファイバ106へ切り替えることにより、セルフヒーリング機能を持たないクライエント101a-bからの信号だけを切り替え、セルフヒーリング機能を持つクライエント134からの信号については自身での保護切替処理を行わせる。

図1



【特許請求の範囲】

【請求項1】波長分割多重ネットワークの光バスを復旧するネットワーク構成装置において、

信号を受信し、該受信した信号を第1の信号群と多重化して現用系バスへ送信するための第1の合波信号を生成する第1の多重化部と、

信号を受信し、該受信した信号を第2の信号群と多重化して予備系バスへ送信するための第2の合波信号を生成する第2の多重化部と、

クライエントと接続して、該クライエントから信号を受信し、該信号を合波処理して前記現用系バスへ送信させる前記第1の多重化部へ送り、前記現用系バスに障害が発生した場合には、前記第1の信号群とは独立して、前記信号を合波処理して前記予備系バスへ送信させる前記第2の多重化部へ切り替えるバスベーススイッチ(path-based switch)とを備えることを特徴とするネットワーク構成装置。

【請求項2】前記信号は第1の信号であり、

前記第1の多重化部は、バスベーススイッチを介さずにセルフヒーリングクライエントと接続され、該セルフヒーリングクライエントからの第2の信号を受信し、該第2の信号を第1の信号群の一部として前記第1の信号と多重化して前記現用系バスへ送信するものであり、

当該ネットワーク構成装置は、前記現用系バスでの障害発生に応じて、前記第2の信号を切り替えることなく前記第1の信号を前記第2の多重化部へ切り替えることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項3】前記バスベーススイッチは光クロスコネクツスイッチであることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項4】前記バスベーススイッチと、該バスベーススイッチに接続された性能監視モニタ(performance monitor)とを備える切替モジュール(switching module)をさらに備え、

前記性能監視モニタは、前記クライエントからの信号を監視し、該信号が予め定めた条件を満たさない場合には警報通知情報を生成することを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項5】前記第1の多重化部は、前記バスベーススイッチからの信号を監視し、該信号が予め定めた条件を満たさない場合には警報通知情報を生成する性能監視モニタを備えることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項6】前記第1の多重化部は、前記信号の状態を通信する光監視信号を前記信号と多重化することで前記第1の合波信号を生成することを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項7】前記バスベーススイッチは、前記第1の多重化部と接続して、信号合波および前記現用系バスへの送信のために前記クライエントからの信号を前記第1の多重化部へ送信する現用系バスと接続して、信号合波および前記現用系バスへ送信するための第1の合波信号を生成する第1の多重化部と、

前記第1の多重化部へ通信する現用系スイッチと、前記第2の多重化部と接続して、信号合波および前記予備系バスへの送信のために前記クライエントからの信号を前記第2の多重化部へ通信する予備系スイッチとを備えていることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項8】前記バスベーススイッチと電気-光変換器とを備える切替モジュールをさらに備え、

前記切替モジュールは、光信号から電気信号へ変換し、該電気信号を前記第1の多重化部および前記第2の多重化部のいずれか一方へ切り替え、該切替後の前記電気信号を合波および送信処理のために光信号へ変換することを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項9】前記第2の多重化部と前記バスベーススイッチとの接続されたライン信号再生器(line regenerator)をさらに備え、

前記ライン信号再生器は、前記バスベーススイッチから前記第2の多重化部へ通信される信号を再生することを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

20 【請求項10】前記第1の多重化部と接続して、信号合波および前記現用系バスへの送信処理のために、前記バスベーススイッチから前記第1の多重化部へ通信される信号を監視する第1のトランスポンダと、前記第2の多重化部と接続して、信号合波および前記予備系バスへの送信処理のために、前記バスベーススイッチから前記第2の多重化部へ通信される信号を監視する第2のトランスポンダとをさらに備えることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項11】前記バスベーススイッチおよび前記クライエントと接続して、前記クライエントから前記バスベーススイッチへ通信された信号を監視するトランスポンダをさらに備えることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項12】前記バスベーススイッチと前記クライエントとを接続するためのハードウェアインターフェースをさらに備えることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項13】前記バスベーススイッチと前記クライエントとを接続するためのネットワーク装置管理マネージャ(element manager)をさらに備えることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項14】前記信号は、制御通信チャンネル(control communication channel)を含むペイロードを備えることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項15】前記現用系バスと前記予備系バスとはリンク上に設けられていることを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項16】前記現用系バスは第1のリングに設けられ、前記予備系バスは第2のリングに設けられているこ

とを特徴とする請求項1に記載のネットワーク構成装置。

【請求項17】波長分割多重ネットワークにおいて、第1の信号を当該波長分割多重ネットワークの第2のノードへ再送信させるために、該第1の信号を当該波長分割多重ネットワークの第1のノードへ送信するクライエントと、

第2の信号を当該波長分割多重ネットワークの前記第2のノードへ再送信させるために、該第2の信号を当該波長分割多重ネットワークの前記第1のノードへ送信し、前記第1の信号とは独立して前記第2の信号について保護切替処理(protection switching)を実行するセルフヒーリングクライエントとを備え、

前記第1のノードは、前記第1の信号のためのバスペーススイッチを備え、前記バスペーススイッチは、前記第2の信号とは独立して、前記第1の信号のための保護切替処理を実行することを特徴とする波長分割多重ネットワーク。

【請求項18】前記バスペーススイッチは光クロスコネクトスイッチを備えることを特徴とする請求項17に記載の波長分割多重ネットワーク。

【請求項19】前記バスペーススイッチと、該バスペーススイッチに接続された性能監視モニタとを備える切替モジュールをさらに備え、前記性能監視モニタは、前記クライエントからの信号を監視し、該信号が予め定めた条件を満たさない場合には警報通知情報を生成することを特徴とする請求項17に記載の波長分割多重ネットワーク。

【請求項20】前記バスペーススイッチおよび前記クライエントと接続して、前記クライエントから前記バスペーススイッチへ通信された信号を監視するトランズponderをさらに備えることを特徴とする請求項17に記載の波長分割多重ネットワーク。

【請求項21】前記バスペーススイッチと前記クライエントとを接続するためのハードウェアインターフェースをさらに備えることを特徴とする請求項17に記載の波長分割多重ネットワーク。

【請求項22】前記バスペーススイッチと前記クライエントとを接続するためのネットワーク装置管理マネージャをさらに備えることを特徴とする請求項17に記載の波長分割多重ネットワーク。

【請求項23】前記信号は制御通信チャンネルを含むペイロードを備えることを特徴とする請求項17に記載の波長分割多重ネットワーク。

【請求項24】波長分割多重ネットワークにおける光バスの障害復旧方法において、

現用系バスへ送信するための第1の信号をクライエントから受信し、

前記現用系バスへ送信するための第2の信号をセルフヒーリングクライエントから受信し、

前記現用系バスに障害が発生したかの判断を行い、該障害が発生したと判断した場合には、

前記第2の信号とは独立して、前記第1の信号を予備系バスへ切り替え、

前記セルフヒーリングクライエントによる、前記第2の信号に対する保護切替処理の実施を独立して行わせ、

前記第1の信号を一群の信号と多重化して合波信号を生成し、

前記合波信号を前記予備系バスへ送信することを特徴とする方法。

【請求項25】前記予備系バスへの切替処理は、バスペーススイッチによる切替処理を含むことを特徴とする請求項24に記載の方法。

【請求項26】前記予備系バスへの切替処理は、光クロスコネクトスイッチにより実行されることを特徴とする請求項24に記載の方法。

【請求項27】前記第1の信号を監視する処理と、前記第1の信号が予め定めた条件を満たさない場合には警報通知情報を生成する処理とをさらに備えることを特徴とする請求項24に記載の方法。

【請求項28】前記予備系バスへの切替処理では、前記第1の信号を光信号から電気信号へ変換する処理と、前記電気信号を前記予備系バスへ切り替える処理と、前記切替処理後の前記電気信号を合波および送信処理のために光信号へ変換する処理とを備えることを特徴とする請求項24に記載の方法。

【請求項29】前記予備系バス上で前記第1の信号を再生する処理をさらに備えることを特徴とする請求項24に記載の方法。

【請求項30】前記第1の信号は制御通信チャンネルを含むペイロードを備えることを特徴とする請求項24に記載の方法。

【請求項31】前記現用系バスでの障害発生を判断する処理は、前記波長分割多重ネットワークにおける第1のノードを使用して前記現用系バスの障害発生を判断する処理と、警報通知情報を通信する処理とを備えることを特徴とする請求項24に記載の方法。

【請求項32】前記予備系バスへの切替処理は、第1のリングに設けられた前記現用系バスからの前記第1の信号を、第2のリングに設けられた前記予備系バスへ切り替える処理を備えることを特徴とする請求項24に記載の方法。

【請求項33】波長分割多重ネットワークにおける光バスの障害復旧方法において、

クライエントからの信号を受信し、

現用系バスの状態に応じて、合波処理および前記現用系バスへの送信処理を行う第1の多重化部および合波処理および予備系バスへの送信処理を行う第2の多重化部の

いずれか一方へ、バスベーススイッチを用いて、前記信号を任意に切り替え、

前記第1の多重化部での信号受信に応じて、前記信号を第1の信号群と多重化し、前記現用系バスへ送信される第1の合波信号を生成し、

前記第2の多重化部での信号受信に応じて、前記信号を第2の信号群と多重化し、前記予備系バスへ送信される第2の合波信号を生成することを特徴とする方法。

【請求項34】前記信号は第1の信号であり、

セルフヒーリングクライエントから第2の信号を受信する処理と、

前記セルフヒーリングクライエントに、前記第2の信号の保護切替処理を独立して行わせる処理とをさらに備えることを特徴とする請求項33に記載の方法。

【請求項35】前記切替処理は光クロスコネクトスイッチにより実行されることを特徴とする請求項33に記載の方法。

【請求項36】前記信号を監視する処理と、

前記信号が予め定めた条件を満たさない場合には警報通知情報を生成する処理とをさらに備えることを特徴とする請求項33に記載の方法。

【請求項37】前記予備系バス上で前記第1の信号を再生する処理をさらに備えることを特徴とする請求項33に記載の方法。

【請求項38】前記第1の信号は制御通信チャンネルを含むペイロードを備えることを特徴とする請求項33に記載の方法。

【請求項39】前記切替処理は、第1のリングに設けられた前記現用系バスからの前記第1の信号を、第2のリングに設けられた前記予備系バスへ切り替える処理を備えることを特徴とする請求項33に記載の方法。

【請求項40】波長多重ネットワークにおける光バスの障害を復旧するネットワーク構成装置において、

信号を受信し、該受信した信号を第1の信号群と多重化して現用系光バスへ送信するための第1の合波信号を生成する第1の多重化部と、

前記信号を受信し、該信号を第2の信号群と多重化して、第1の予備系光バスへ送信するための第2の合波信号を生成する第2の多重化部と、

前記信号を受信し、該信号を第3の信号群と多重化して、第2の予備系光バスへ送信するための第3の合波信号を生成する第3の多重化部と、
バスベーススイッチ(path-based switch)と、を有し、

前記バスベーススイッチは、

クライエントから信号を受信し、該信号を前記第1の多重化部へ送り、そこで合波処理して現用系光バスへ送信させると共に、

前記現用系光バスに障害が発生した場合には、該信号を前記第1の信号群とは独立して前記第2の多重化部に切

り替え、そこで合波処理して前記第1の予備系バスに送信させ、

前記現用系光バスおよび前記第1の予備系光バスに障害が発生した場合には、該信号を前記第1の信号群とは独立して前記第3の多重化部に切り替え、そこで合波処理して前記第2の予備系光バスに送信させることを特徴とするネットワーク構成装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、光ネットワーク分野に係わり、特に、波長分割多重ネットワークにおける光バス(optical path)の障害復旧(restore)方法及びシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】インターネットトラフィックの爆発的増加に伴い、高密度波長多重(DWDM:Dense Wavelength Division Multiplexing)ネットワークにおいて大容量、低コスト、高信頼なデータ伝送に対する需要が高まっている。DWDMネットワークの光バスに障害が発生した場合には、大量のデータが失われる可能性がある。障害復旧方式及びシステムは、障害が発生した場合に、データトラフィックを代替通信路へ切り替えるために使用される。しかし、障害復旧の従来方式及びシステムは、DWDMネットワークに対して効果的ではなかつた。

【0003】時分割多重(TDM:Time Division Multiplexing)ネットワークのノードにおける信号の障害復旧方式に関する従来技術によれば、信号はSONET(Synchronous Optical Network)/SDH(Synchronous Digital Hierarchy)のフォーマットにより多重化され、デジタルクロスコネクト、双方向ライン切替リング(BLSR: Bi-Directional Line Switched Ring)、單方向バスリング(UPSR: Uni-Directional Switched Ring)等により実現される。SONET/SDHシステムでは、時間領域において切替を行う。時分割多重スイッチはタイムスロットに対応した複数ポートを備えている。入出力ポートは、対応する各タイムスロット選択することにより接続が可能となる。このネットワークは、小容量トラフィックの束を取り扱うような電話回線ネットワークに適している。しかしながら、現在のネットワークの容量増大を促進しているIPデータトラフィックは、IPルータやATM(Asynchronous Transfer Mode)交換機からの大容量なポイントツーポイントトラフィックで構成されている。既に、IPルータやATM(Asynchronous Transfer Mode)交換機から出力される信号の伝送速度は、SONET/SDH多重伝送装置のバス速度と等しくなり、IPデータトラフィックに対しては、SONET/SDHの多重機能と切替機能が不要となってきている。従って、光領域での障害復旧の実現が波長多重ネットワークにおいて必要となっている。波長多重ネットワークにおける障

30

30

時分割多重(TDM: Time Division Multiplexing)ネットワークのノードにおける信号の障害復旧方式に関する一従来技術によれば、信号はSONET(Synchronous Optical Network)/SDH(Synchronous Digital Hierarchy)のフォーマットにより多重化され、デジタルクロスコネクト、双方向ライン切替リング(BLSR: Bi-Directional Line Switched Ring)、單方向バスリング(UPSR: Uni-Directional Switched Ring)等により実現される。SONET/SDHシステムでは、時間領域において切替を行う。時分割多重スイッチはタイムスロットに対応した複数ポートを備えている。入出力ポートは、対応する各タイムスロット選択することにより接続が可能となる。このネットワークは、小容量トラフィックの束を取り扱うような電話回線ネットワークに適している。しかしながら、現在のネットワークの容量増大を促進しているIPデータトラフィックは、IPルータやATM(Asynchronous Transfer Mode)交換機からの大容量なポイントツーポイントトラフィックで構成されている。既に、IPルータやATM(Asynchronous Transfer Mode)交換機から出力される信号の伝送速度は、SONET/SDH多重伝送装置のバス速度と等しくなり、IPデータトラフィックに対しては、SONET/SDHの多重機能と切替機能が不要となってきている。従って、光領域での障害復旧の実現が波長多重ネットワークにおいて必要となっている。波長多重ネットワークにおける障

40

40

時分割多重(TDM: Time Division Multiplexing)ネットワークのノードにおける信号の障害復旧方式に関する一従来技術によれば、信号はSONET(Synchronous Optical Network)/SDH(Synchronous Digital Hierarchy)のフォーマットにより多重化され、デジタルクロスコネクト、双方向ライン切替リング(BLSR: Bi-Directional Line Switched Ring)、單方向バスリング(UPSR: Uni-Directional Switched Ring)等により実現される。SONET/SDHシステムでは、時間領域において切替を行う。時分割多重スイッチはタイムスロットに対応した複数ポートを備えている。入出力ポートは、対応する各タイムスロット選択することにより接続が可能となる。このネットワークは、小容量トラフィックの束を取り扱うような電話回線ネットワークに適している。しかしながら、現在のネットワークの容量増大を促進しているIPデータトラフィックは、IPルータやATM(Asynchronous Transfer Mode)交換機からの大容量なポイントツーポイントトラフィックで構成されている。既に、IPルータやATM(Asynchronous Transfer Mode)交換機から出力される信号の伝送速度は、SONET/SDH多重伝送装置のバス速度と等しくなり、IPデータトラフィックに対しては、SONET/SDHの多重機能と切替機能が不要となってきている。従って、光領域での障害復旧の実現が波長多重ネットワークにおいて必要となっている。波長多重ネットワークにおける障

害復旧の切替には、波長多重された光信号で切り替える場合と波長単位で切り替える場合の2方式がある。

【0004】DWDMネットワークノードにおける信号の障害復旧方式に関する一從来技術によれば、光クロスコネクトシステムの障害復旧機能がある。メッシュネットワークのために設計された光クロスコネクトシステムによれば、選択可能な複数の代替経路が設けられており、障害復旧資源の効率的な利用が可能となっている。しかし、メッシュネットワーク光クロスコネクトシステムは、管理が複雑で復旧に時間がかかる。例えば、U.S.5,457,556では、ネットワークの教養機能を持つ光クロスコネクトシステムが開示されている。このシステムは、3つの切替レイヤを管理する。一つ目は波長多重された光信号で切り替える光空間スイッチで、二つ目は波長単位で切り替える光空間スイッチで、三つ目は時分割多重スイッチである。各レイヤは独自の復旧機能を備えているので、このシステムでは各レイヤでの復旧切替の衝突を防止するために、各レイヤのスイッチを管理するネットワークセンタを必要とする。信号の異常がネットワーク上で検出されると、ネットワークセンタに通信される。切替の衝突を防止するために、ネットワークセンタがどのレイヤにおいて切替を行うかを決定して切替実行の要求を出す必要がある。また、リンクトポロジーを用いて高速復旧を行う別の光クロスコネクトシステムが提案されている。例えば、U.S.5,457,556では、光切替とSONET時分割多重スイッチが組み合わせられている。しかし、この例は、時分割多重スイッチのため大容量のトラフィックには適さない。また、波長多重された光信号で切替を行う光リンクネットワークが提案されている。一般に、波長多重装置には様々なクライエントが接続されるため、このようなシステムでは自動復旧機能をもつSONET/SDH装置などが一緒に接続されると切替の衝突が発生する。従って、管理がとても複雑になる。また、U.S.5,870,212では、波長単位で切り替える光クロスコネクトシステムが開示されている。しかしながら、これはリンクベアースの切替を行っており、光バスが通過する全てのノードに切替機能が必要となり経済的でない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】DWDMネットワークノードでは、IPルータやATM交換機や既存のSONET／SDH多重伝送装置等々、様々なクライエントが接続される。IPルータやATM交換機からのデータトラフィックは、SONET/SDHの多重機能と切替機能が不要となってきた。従って、光領域での障害復旧の実現が波長多重ネットワークにおいて必要である。また、接続されるクライエントでは、セルフヒーリング機能があるものと無いものとがあり、光領域での切替を実施した場合に他のシステムとの切替の衝突が問題となる。また、光バスが通過する全てのノードに切替機能を必要とすると大規模なスイッチが必要となり、効率や経済性が問題と

【0006】本発明では、上述した從来技術の課題を考慮して成されたものであり、その目的は上記課題や不利点を解消いは軽減することができる、光ネットワークにおける光バスの障害復旧方法及びシステムを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、從来技術のシステムや方法に係わる不利益や課題を実質的に解消あるいは軽減することができる、光ネットワークにおける光バスの障害復旧方法およびシステムが提供される。

【0008】本発明の一実施態様によれば、波長分割多重ネットワークにおける光バスを障害復旧するためのネットワーク構成要素（network element）が開示される。本ネットワークは、信号を受信し、該受信した信号を第1の信号群と多重化して現用系バス（working path）へ送信するための第1の合波信号を生成する第1の多重化装置を備える。第2の多重化装置は、前記信号を受信し、該信号を第2の信号群と多重化して、予備系バス（restoration path）へ送信するための第2の合波信号を生成する。バスベースのスイッチ（path-based switch）は、クライエントから信号を受信し、該信号を第1の多重化装置へ送り、そこで合波処理して現用系バスへ送信させ、現用系バスに障害が発生した場合には、該信号を第1の信号群とは独立して第2の多重化装置へ切り替え、そこで合波処理して予備系バスへ送信させる。

【0009】本発明の他の実施態様によれば、波長多重ネットワークにおける光バスを障害復旧するためのネットワーク構成要素が開示される。本ネットワークは、信号を受信し、該受信した信号を第1の信号群と多重化して現用系バスへ送信するための第1の合波信号を生成する第1の多重化装置を備える。第2の多重化装置は、前記信号を受信し、該信号を第2の信号群と多重化して、予備系光バスで送信するための第2の合波信号を生成する。第3の多重化装置は、前記信号を第3の信号群と多重化して、予備系光バスで送信するための第3の合波信号を生成する。バスベースのスイッチは、クライエントから信号を受信し、該信号を第1の多重化装置へ送り、そこで合波処理して現用系バスへ送信させ、現用系バスに障害が発生した場合には、該信号を第1の信号群とは独立して第2の多重化装置に切り替え、そこで合波処理して予備系光バスに送信させ、現用系光バスと第2の多重化装置の予備系光バスに障害が発生した場合には、該信号を第1の信号群とは独立して第3の多重化装置に切り替え、そこで合波処理して予備系光バスに送信させる。

【0010】本発明の他の実施態様によれば、波長分割多重ネットワークが開示される。本ネットワークは、波長分割多重ネットワークの第2のノードへ再送信させる

ために、該波長分割多重ネットワークの第1のノードへ第1の信号を送信するクライエントを備える。セルフヒーリングクライエントは、波長分割多重ネットワークの第2のノードへ再送信するために該波長分割多重ネットワークの第1のノードへ第2の信号を送信し、第1の信号とは独立に第2の信号について保護切替処理(prot ection switching)を実行する。第1のノードは第1の信号のためのバスベースのスイッチを備え、該バスベースのスイッチは第2の信号とは独立して第1の信号のための保護切替処理を実行する。

【0011】本発明の他の実施態様によれば、波長分割多重ネットワークにおける光バスの障害復旧方法が開示される。現用系バスへ送信するための第1の信号がクライエントより受信される。現用系バスへ送信するための第2の信号がセルフヒーリングクライエントより受信される。現用系バスに障害が発生したとの判断が下される。第1の信号は、第2の信号とは独立して予備系バスへ切り替えられる。セルフヒーリングクライエントは、第2の信号に対する保護切替処理の実施を独立して行うことができる。第1の信号は一群の信号と多重化されて合波信号が生成され、該合波信号は予備系バスへ送信される。

【0012】本発明の他の実施態様によれば、波長分割多重ネットワークにおける光バスの障害復旧方法が開示される。信号がクライエントより受信される。この信号は適宜、合波し現用系バスへ送信する第1の多重化装置および合波し予備系バスへ送信する第2の多重化装置のいずれか一方へ、バスベースのスイッチを用いて、現用系バスの状態に応じて切り替えられる。第1の多重化装置で信号が受信されると、該信号は第1の信号群と多重化され、現用系バスへ送信される第1の合波信号が生成される。第2の多重化装置で信号が受信されると、該信号は第2の信号群と多重化され、予備系バスへ送信される第2の合波信号が生成される。

【0013】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の一実施形態における光ネットワーク100のブロック図である。光ネットワーク100は、図1に示すように、光伝送媒体で互いに接続された、複数のネットワーク構成要素から構成されネットワークノード101、103を備えている。クライエント110a-bおよび134は、ネットワークノード101、103を通して信号を送る。ネットワークノード101は、例えば光クロスコネクト(OXC)等のバスベースの切替モジュール(switching module)102を備えるもので、切替モジュール102は、選択された個別信号の光バスを波長レベルで、現用系ファイバ104から予備系ファイバ106へ切り替えることで、切替処理を実行する。切替モジュール102はクライエントからの信号を、該信号が他の信号と多重化される前に切り替えることで、適宜切替処理を実施する。

光バスは、信号の発生源であるクライエントに最も近い発信元ネットワークノードから送信先クライエントに最も近い着信先ネットワークノードまでの波長バスであって、一部の経路で電気信号を含む構成としても良い。図1に示す実施形態では、クライエント110a-bからの信号だけが切り替えられている。以下により詳細に説明されるように、クライエント134は自身でセルフヒーリング機能を備えている。ネットワークノード103はネットワークノード101と同様である。ネットワークノード103は切替モジュール120を備え、切替モジュール120は、光バスの障害復旧のために、選択された個別の信号を現用系ファイバ104から予備系ファイバ106へ波長レベルで切り替える。

【0014】本実施形態では、クライエント110a-bはOXC102と信号通信を行う。OXC102は、ソフトウェア的に、ハードウェア的に、あるいはこれらの中の適切な任意の組み合わせによって実現される。OXC102のスイッチ112aはクライエント110aから信号を受信し、OXC102のスイッチ112bはクライエント110bから信号を受信する。OXC102は、現用系ファイバ104を介しての信号通信が可能かを判断する。現用系ファイバ104が信号通信に利用可能な場合、OXC102は波長分割多重装置(WDM)114へ信号を通信する。WDM114はこの信号を、例えばクライエント134からの信号など他の入力信号と多重化する。WDM114は現用系ファイバ104を介してWDM116へ多重化信号を通信する。WDM116は入力信号を分離し、スイッチ122a-bを備えるOXC120へクライエント110a-bからの信号を通信する。より具体的には、スイッチ122aはクライエント110aからの信号を受信し、スイッチ122bはクライエント110bからの信号を受信する。OXC120はクライエント124a-bへこれらの信号を通信する。より具体的には、クライエント124aはクライエント110aからの信号を受信し、クライエント124bはクライエント110bからの信号を受信する。

【0015】現用系ファイバ104が信号通信に利用できない場合、OXC102はクライエント110a-bからの信号をWDM130へ切り替える。WDM130は入力信号をクライエント134からの信号と多重化する。WDM130は予備系ファイバ106を介してWDM132へ多重化信号の通信を行う。WDM132は信号を分離し、該信号をOXC120へ通信する。OXC120は、クライエント110a-bからの信号をクライエント124a-bへそれぞれ通信する。

【0016】光ネットワーク100は、自分がセルフヒーリング又は保護・復旧機能を備えるクライエント134及び136を収容する。クライエント134は、現用系ファイバ104が信号通信に使用できるかの判断を下

す。現用系ファイバ104を通しての信号通信が可能な場合には、クライエント134はWDM114へ信号を通信する。クライエント134からの信号はOXCl02を迂回するため、OXCl02の保護又は復旧機能との切替衝突(switching conflict)の発生を未然に防ぐことができる。さらに、OXCl02の保護・復旧機能をクライエント134のために使用しないことにより、その機能の保存が図られる。WDM114はクライエント134からの信号をクライエント110a-bからの信号と共に多重化する。次に、多重化された信号は現用系ファイバ104を介して、入力信号の分離を行うWDM116へ通信される。WDM116はクライエント134からの信号をクライエント136へ通信する。現用系ファイバ104が信号通信に使用できない場合には、クライエント134はWDM130へ信号を通信し、そこでクライエント134からの信号はクライエント110a-bからの信号と共に多重化される。多重化された信号は予備系ファイバ106を介して、入力信号を分離するWDM132へ通信される。WDM132はクライエント134からの信号をクライエント136へ通信する。

【0017】また、信号は逆方向へも通信可能である。信号はクライエント124a-bから、現用系ファイバ104での信号通信が可能かを判断するOXCl20へ通信される。現用系ファイバ104を通しての信号通信が可能な場合には、クライエント124a-bからの信号はOXCl20、WDM116、現用系ファイバ104、WDM114およびOXCl02を通して、クライエント110a-bへ通信される。同様に、クライエント136からクライエント134へ信号通信が行われる。クライエント136が現用系ファイバ104を通しての信号通信が可能と判断した場合には、クライエント136からの信号はWDM116、現用系ファイバ104およびWDM114を通して、クライエント134へ信号通信される。現用系ファイバ104を通しての信号通信ができないと判断した場合には、クライエント136からの信号はWDM132、予備系ファイバ106およびWDM132を通して、クライエント134へ通信される。

【0018】図2は、本発明の一実施形態による図1の光ネットワーク100で使用される中間ネットワークノード200のブロック図である。ネットワークノード200は、図1に連絡して説明したように光バスの障害復旧を行うOXCl02を備えている。ネットワークノード200はさらに、図2に示すように互いに光通信媒体で接続されているWDM114、130、214、23

0、現用系ファイバ104、204および予備系ファイバ106、206を備えている。OXCl02はクライエント110a-bからの信号を受信し、現用系ファイバ104、204それぞれでの信号通信が可能かを判断する。現用系ファイバ104、204を通しての信号通信が可能な場合には、クライエント110a-bから信号は現用系ファイバ104、204を通して通信される。現用系ファイバ104または204が信号通信に使用できない場合にはそれぞれ、OXCl02は波長レベルで個々の信号を切り替え、予備系ファイバ106または206を通して信号通信を行う。OXCl02は、クライエントからの信号が他の信号と共に多重化される前に切り替えることで、個々の信号の切替処理を実施する。

【0019】クライエント110a-bはそれぞれ、性能監視モニタ(PM)(performance monitor)202a-bを備えている。性能監視モニタ202a-bは信号損失および信号劣化などの障害検出および隔離情報を提供する。OXCl02はコントローラ210、光スイッチ212および性能監視モニタ214を備えている。コントローラ210はOXCl02の動作を制御し、光スイッチ212に対して制御指示を行う。光スイッチ212は、現用系ファイバ104が使用できない場合には通信バスを現用系ファイバ104から予備系ファイバ106へ切り替え、現用系ファイバ204が使用できない場合には通信バスを現用系ファイバ204から予備系ファイバ206へ切り替える。性能監視モニタ214は性能監視モニタ202a-bと同様な情報と、現用系ファイバ104、204が利用可能か否かに関する情報を提供する。性能監視モニタ214、202a-bは信号情報とコントローラ210および他のネットワーク構成要素へ通信する。クライエント110a-bは、例えばハードウェアインターフェースまたはネットワーク装置管理マネージャ(element manager)203等の、任意の適切なインターフェースを用いてOXCl02と通信する。ネットワーク装置管理マネージャ203は、入力信号の信号情報をモニタし、該信号情報をOXCl02および他のネットワーク構成要素へ通信する。

【0020】本発明の一実施形態において、ライン信号再生器(LRE)240、242(line regenerator)40はOXCl02、WDM230、130と、予備系ファイバ206、106によって接続されている。LRE240、242はそれぞれ、信号品質を向上するために、予備系ファイバ206、106を通して通信される信号を再生する。LRE240、242はそれぞれ予備系ファイバ206、106の性能監視モニタリングを行なうと共に、予備系ファイバの光増幅器のシャットダウンを予防する。また、LRE240、242は、2方向WDMシステムでは波長変換処理を行うために利用でき、さらにはまた、オーバーヘッド部の予備ペイドによる通信チャネルを提供するための、信号オーバーヘッド部へのア

クセス手段として利用することもできる。また、LRE 240、242の代わりにトランスポンダ(transponder)を使用する構成としても良い。

【0021】 WDM1 1 4は、図2に示すように、バスあるいは他の適切な媒体によって接続された性能監視モニタ220a、WDM222a、光増幅器224aおよび光監視チャンネル(OSC)226aを備えている。性能監視モニタ220aはOXC102からの信号を受信し、性能監視モニタ220a-bが提供するものと同様な信号情報を提供する。性能監視モニタ220aは信号情報をOXC102および他のネットワークノードへ通信する。WDM222aは性能監視モニタ220aから信号を受信し、該信号を多重化する。OA224aは多重化された信号をWDM222aから受信し、該信号を増幅する。OSC226aは、管理チャンネル(management channel)の管理を行い、性能監視モニタ220a-bからの信号情報をコントローラ210を介して受信する。OSC226aは、この情報および他の情報を、現用系ファイバ104を介して通信された信号のオーバーヘッド部で通信する。WDM1 1 4は現用系ファイバ104を通して信号通信を行う。WDM1 1 4を通して信号は逆方向にも送信することができる。WDM1 3 0、2 1 4、2 3 0は同様な構成を備えている。WDM1 3 0、2 1 4、2 3 0はそれぞれ、性能監視モニタ220b-d、WDM222b-d、OA224b-dおよびOSC226b-dを備えており、各構成要素はそれぞれ性能監視モニタ220a、WDM222a、OA224aおよびOSC226aと同様な機能を実現する。

【0022】図3は、本発明の一実施形態におけるカードシェルフ(card shelf)構成のOXC102のブロック図である。本実施形態において光ネットワーク100は、波長面(wavelength plane)250a-bに対応する複数のサブレイヤーに分割されている。波長面250a-bにより、選択された波長を持つ信号の切替制御する切替ユニットの挿入が可能になる。OXC102は、該OXC102をネットワークノードの他モジュールと接続するI/Oコントローラ252を備えている。I/O252はマスターシェルフ(master shelf)コントローラ254と接続されている。マスターシェルフコントローラ254は出入力される信号の警報およびステータス情報を管理する。マスターシェルフコントローラ254は波長ユニットコントローラ251a-cを通して波長面250a-cに接続されている。各波長ユニットコントローラ251a-cは、特定波長の信号の切替を行いう。更に多くの波長面が必要な場合には、出入力信号の警報及びステータス情報の管理を行うスレーブシェルフコントローラ256が拡張してもよい。スレーブシェルフコントローラ256は波長ユニットコントローラ258a-cに接続される。波長ユニットコントローラ2

58a-cは、特定波長の信号の切替を行う。スレーブシェルフコントローラ260、262は同様の各波長ユニットコントローラに接続され、別の波長面上での切替に用いられる。

【0023】図4は、本発明の一実施形態における図1の光ネットワーク100で使用することができるトランスポンダ302、304、306を備えるノードのブロック図である。トランスポンダ302はクライエント110a-bおよびOXC102と接続されている。トランスポンダ304はOXC102およびWDM214、230と接続されている。同様に、トランスポンダ306はOXC102およびWDM114、130と接続されている。トランスポンダは光信号を、よりコストがかかるものの光ネットワーク性能の向上を図ることができる電気信号に変換する。トランスポンダ302、304、306は、自身を通じて伝送される信号について、監視、障害検出および障害隔離を行う機能を備えている。また、トランスポンダ302、304、306は、信号のオーバーヘッド部にアクセスし、読み出しあるいは書き込みを行うことで通信する機能を備えている。したがって、トランスポンダ302、304、306は、ピットエラーレート、信号損失、警報通知および自動保護切替に関する情報を提供するために使用される。

【0024】図5は、本発明の一実施形態における図2のネットワークノード200と同様なネットワークノードにより使用できるスイッチ(SW)402のブロック図である。OXC102は、図5に示すように、現用系ファイバ104、204、予備系ファイバ106、206、WDM114、130、214、230、およびクライエント110a-bと光伝送媒体で接続されているスイッチ402を備えている。各構成要素は上述したような構成および動作を備えている。性能監視モニタ、トランスポンダまたは他の適切なネットワーク構成要素を、クライエント110a-bとスイッチ402との間に配置する構成としても良い。

【0025】スイッチ402は光信号を電気信号に変換することなく切り替える。スイッチ402は、予備系スイッチ(restoration switch)404と現用系スイッチ(working switch)406a-bとを備えている。クライエント110a-bのそれぞれは自身の現用系スイッチを備えているが、予備系スイッチ404を共用している。現用系ファイバ104が信号通信に使用できる場合には、スイッチ402は現用系スイッチ406bを使用し、クライエント110bと現用系ファイバ104との間で通信を行わせる。現用系ファイバ104が信号通信に使用できない場合には、スイッチ402は予備系スイッチ404を使用し、クライエント110bと予備系ファイバ204との間で通信を行わせる。同様に、現用系ファイバ204が信号通信に使用できる場合には、スイッチ402は現用系スイッチ406aを使用し、クライエント110a-bと現用系ファイバ204との間で通信を行わせる。

エント110aと現用系ファイバ204との間で通信を行わせる。現用系ファイバ204が信号通信に使用できない場合には、スイッチ402は予備系スイッチ404を使用し、クライエント110aと予備系ファイバ206との間で通信を行わせる。予備系スイッチ404と現用系スイッチ406a-bとを分離して設けることで、サービス提供中でも障害のある現用系スイッチ406a-bのメンテナンスが可能となる。

【0026】図6は、本発明の一実施形態における光スイッチ402の代わりに使用できる電気スイッチ502のブロック図である。電気的な切替処理(electrical switching)によれば、低コストで信頼性の高い切替処理が実現できる。加えて、電気的切替処理では光信号を電気信号へ変換するため、信号の性能(performance)を電気の状態で容易にモニタすることができる。さらに、信号を電気信号に変換するトランジスタが使用される場合には、電気的切替処理がより容易になる。本実施形態においてOXCI02は、図5に示すように互いに接続された、電気スイッチ502、コントローラ210、光-電気(EO)モジュール506a-b、508a-b、510a-b、512a-b、514a-b、516a-b、および光性能監視モニタ504を備えている。OXCI02は、現用系ファイバ104、204、予備系ファイバ106、206、WDM114、130、214、230、およびクライエント110a-bと適切な伝送媒体により接続されている。各構成要素は上述したような構成を備えて動作するものである。電気スイッチ502は電気スイッチ522と接続されている電気回路520を備えている。

【0027】光性能監視モニタ504は、クライエント110a-b、現用系ファイバ104、204および予備系ファイバ106、206から受信された信号をモニタする。電気-光(EO)モジュール506a-bはクライエント110aからの光信号を電気信号に変換し、電気回路520からの電気信号を光信号に変換する。同様に、EO508a-bはクライエント110bからの光信号を電気信号に変換し、電気回路520からの電気信号を光信号に変換する。EO510a-bは予備系ファイバ206からの光信号を電気信号に変換し、電気回路520からの電気信号を光信号に変換する。EO512a-b、EO514a-b、EO516a-bも同様に動作するもので、ファイバ204、106、204からの光信号をそれぞれ電気信号に変換し、電気回路520からの電気信号を光信号に変換する。

【0028】電気回路520は、EO510a-b、512a-b、514a-b、516a-bからの電気信号を受信する。電気回路520は、入力電気信号の性能をモニタし、また、該入力信号のオーバーヘッドチャンネルを用いて情報の読み出しが書込を行う。電気スイッチ522は電気回路520からの電気信号を受信する。コ

ントローラ210は現用系ファイバ104、204を介して信号が送信できるかを判断する。現用系ファイバ104、204を介しての信号通信が可能な場合には、電気スイッチ522が信号をファイバ104、204へ送る。現用系ファイバ104または204を介しての信号通信ができない場合には、電気スイッチ522は対応する予備系ファイバ106または206を用いて通信を行う。

【0029】図7は、本発明の一実施形態で使用できる10光リング600のネットワークノードのブロック図である。光リング600は、図7に示すように光伝送媒体で接続されている、ネットワークノード200、604、606、608、およびクライエント610a-b、612a-b、614a-b、616、628、110bを備えている。スパン(span switching)またはリング切替処理(ring switching)が実行される。例えば、現用系ファイバ620を通しての信号通信ができない場合には、予備系ファイバ622を通しての信号通信が可能となるようにスパン切替処理が実行される。例えば、現用系ファイバ620および予備系ファイバ622を通しての信号通信ができない場合には、ファイバ104、624、630を用いての信号通信がされるように、リング切替処理が実行される。具体的には、信号は障害から離れる方向に切り替えられ、本リングの反対方向を向って伝送される。ネットワークノード200、604、606は光切替部を備えるものであり、電気切替部をさらに備える構成としても良い。ノード200、604、606、608はセルフヒーリングではなく保護が必要な信号の各々に対応するスイッチを備えている。ネットワークノード200はクライエント610a-bからの信号を受信する。クライエント610aは優先度の高いクライエントであり、現用系ファイバ620を介しての信号通信が可能な場合、クライエント610aからの信号は現用系ファイバ620を介してクライエント612aへ通信される。クライエント610bは優先度の低いクライエントであり、クライエント610bからの信号は予備系ファイバ622を介してクライエント612bへ通信される。現用系ファイバ620を介しての信号通信ができない場合には、ネットワークノード200は優先度の低いクライエント610bからの信号を抑制し(squelch e)、クライエント610aからの信号を予備系ファイバ622へ切り替え、クライエント612aとの信号通信を行わせる。ネットワークノード200は、優先度の低い信号の信号チャンネルに警報通知を挿入することで、優先度の低い信号の抑制を行う。同様に、クライエント612aは優先度の高いクライエントであり、クライエント612bは優先度の低いクライエントである。クライエント612a-bからの信号はそれぞれ、クライエント610a-bからの信号と同様な形態で通信される。

【0030】ネットワークノード604、606はそれぞれ、自身の保護及び復旧機能を備えたクライエント614、616を収容する。ノードのスイッチは信号が多重化される前に信号を任意に切り替えるため、該スイッチはセルフヒーリングクライエントからの信号についての切り替えを防ぐことができる。この構成によれば、リング形態における障害検出及び復旧を、現存する保護切替機構との矛盾を起こすことなく実現することができる。クライエント614は現用系ファイバ614を介しての信号通信が可能かを判断する。現用系ファイバ624が使用可能であれば、クライエント614は現用系ファイバ624を介してクライエント616との信号通信を行う。現用系ファイバ624が使用できない場合には、クライエント614は予備系ファイバ626を介してクライエント616との信号通信を行う。クライエント616はクライエント614と同様な方法により信号通信を行う。

【0031】ネットワークノード606は、自身の保護及び復旧機能を持たないクライエント628のための切替機能を提供する。ネットワークノード606はクライエント628からの信号を受信し、現用系ファイバ630、104を介しての信号通信が可能かを判断する。現用系ファイバ630、104を介しての信号通信が可能な場合には、ネットワークノード606は現用系ファイバ630を介してネットワークノード608へ信号を送信する。ネットワークノード608は保護切替機構を備えていない。その後、信号は現用系ファイバ104を介してクライエント110bへ通信される。現用系ファイバ630および104のいずれかを介しての信号送信ができない場合には、ネットワーク構成要素606はクライエント628からの信号を予備系ファイバ632を介して、予備系ファイバ106を介してクライエント110bと信号通信を行うネットワーク構成要素608へ送信する。

【0032】図8は、本発明の一実施形態において使用できる2リングシステムのネットワークノードのブロック図である。システム700はリング702とリング704とを備えている。図8に示すようにリング702はノード706、708、710、712を備えている。これらのノードは現用系ファイバ714、718、722、726と予備系ファイバ716、720、724、728によって接続されている。図8に示すようにリング704はノード730、732、734、736を備えている。これらのノードは現用系ファイバ738、742、746、750と予備系ファイバ740、744、748、752によって接続されている。図8に示すように多重装置791が多重化信号をファイバに送信してもよい。また、図8に示すようにライン信号再生器782、784、786がノードに接続されてもよい。リング702とリング704は、リング接続ノード76

10において、クライエント770と775で結ばれる光バス780によって接続される。光バス780は、二つのサブ光バスA790とサブ光バスB795を備えている。ライン信号再生器782、784、786は、サブ光バスA790とサブ光バスB795の性能や運用の管理を分けるために使用されてもよい。現用系ファイバ722が障害の場合、リング702はスパン切替によりサブ光バスA790を救済する。現用系ファイバ722と予備系ファイバ724が障害の場合、リング702はリング切替によりサブ光バスA790を救済する。現用系ファイバ746あるいは、現用系ファイバ746と予備系ファイバ748が障害の場合、リング704は、それぞれスパン切替又は、リング切替を行う。ノード760の障害には、システム700は、ノード間の他の光バスを必要とする。ノード760の障害の場合、即ち、現用系ファイバ722、746と予備系ファイバ724、748が障害の場合には、システム700は、ノード765を通して他の光バスを選択する。

【0033】図9は、本発明の一実施形態において使用可能な光バス820の性能監視モニタを示すブロック図である。光バス820はネットワーク構成要素822-846を備えている。ネットワーク構成要素822-846は、信号性能の評価に用い、さらに、信号が予め定めた限界条件を満たさない場合、すなわち信号に問題がある場合には、該信号の状況に関する通知情報の通信に用いられる。信号に関する問題は、例えばピットエラー、警報通知(alarm indication)、信号損失、フレーム損失等に識別することができる。評価モニタ情報は、OXCの光監視チャンネル(OSC)を用いることにより定義できる。OSCにより、例えば光多重化部での警報表示信号(OMS-AIS)、光チャンネルでの信号ステータス情報(OCH-STA)、光チャンネルでの入力ステータス情報(OCH-INP)等が識別できる。また、トランスポンダ(TDR)およびクライエント、信号損失(LOS)、フレーム損失(LOF)、信号劣化(SD)、警報表示信号(AIS)等の性能監視モニタ処理が可能である。

【0034】より具体的には、光バス820は、送信ライン終端装置(LTE-TX)822、スイッチ824、844、トランスポンダ826、842、送信増幅器(TA)828、836、光増幅器(OA)830、838、受信側増幅器(RA)832、840、ライン信号再生器834、および受信側ライン終端装置(LT-E-RX)846を備えている。スイッチ824は光チャネルオーバーヘッド部の入力ステータス情報を定義する。トランスポンダ826、842は信号損失、フレーム損失、信号劣化または警報通知信号を定義する。送信増幅器828、836および受信側増幅器832、840は、光チャネルオーバーヘッド部での信号ステータス情報および光多重化部での警報通知信号の両方を定

義する。光増幅器830、838は光多重化部での警報通知信号を定義する。ライン信号再生器834は光チャネルオーバーヘッド部での信号ステータス情報を定義する。スイッチ844は光チャネルオーバーヘッド部での信号ステータスを定義する。ライン終端装置846は、信号損失信号、フレーム損失信号、信号劣化信号、および警報通知信号を起動する。

【0035】図10は、本発明の一実施形態におけるSONET信号をOSCチャネルの通信に用いるフレーム構成800を示す図である。フレーム構成800は保護切替を要求する場合と、例えば警報通知、ピットエラーレート、信号損失などの信号ステータス情報および障害検出情報を通信する場合とに用いられる。フレーム構成800はペイロード部802と信号オーバーヘッド部804とを備えている。ペイロード部802は制御通信チャネルを伝送するために使用される。波長毎の専用バイト806a-n、808a-n、810a-nは制御通信チャンネルの伝送用に使用される。光多リング(multiple optical rings)では共通のペイロード部802を使用できる。本実施形態では、リング1は専用バイト806a-nを使用し、リング2は専用バイト808a-nを使用し、リングNは専用バイト810a-nを使用する。制御バイトを使用することにより、簡単迅速で低成本の光バスの障害復旧が可能となる。

【0036】図11は、本発明の一実施形態における図7の光リング600で使用することができる光バスの障害復旧方法を示すフローチャートである。本方法では最初ステップ902において、発信元クライエント110bが発信元ノード200へ信号を送信する。ステップ904では、発信元ノード200が現用系バス104へ信号を送信する。ステップ906では、現用系バス104で信号に影響を与える障害が発生する。ステップ908では、ノード608が信号に障害があるかを判断し、例えば欠陥通知を信号のオーバーヘッド部に挿入するなどして警報を送る。ノード608は評価モニタを含むOXCを備えている。評価モニタは、信号損失や信号劣化などの警報情報を提供する。ノード608にはWDMも備えられている。WDMは、信号損失情報や信号劣化情報を提供する評価モニタや、警報情報を信号のオーバーヘッド部に挿入するOSCを備えている。ノード608は現用系ファイバ630を介して警報情報を着信先ノード606へ送る。

【0037】ステップ910では、着信先ノード606が警報情報を受信する。着信先ノード606は警報情報を受信する評価モニタを備えている。着信先ノード606は現用系バス630を経由して、現用系ファイバ104が使用できず信号再送信を要求する旨を示す警報情報を送る。この要求は発信元ノード200へ送信される。ステップ912では、発信元ノード200が上記要求を受信する。発信元ノード200は、現用系バス104か

ら上記要求を受信するWDM114を備えている。WDM114は該要求をOXC102へ通信する。

【0038】ステップ914では、発信元ノード200のOXCスイッチは光バスを現用系バス104から予備系バス106へ切り替える。OXC102のコントローラ210は上記要求を受信し、光スイッチ212は信号をWDM130へ通信し、該信号をWDM130は予備系バス106へ通信する。クライエント110bから送信された信号だけが予備系バス106へ切り替えられた。例えばセルフヒーリング機能を持つクライエントからの信号など、他の信号はOXC102によって切り替えられてはいない。ステップ916では、発信元ノード200が予備系バス106へ信号を送信する。ステップ920では、信号がノード608および予備系バス632を通りノード606へ伝送される。ステップ922では、着信先クライエント628が信号を受信する。

【0039】

【発明の効果】本発明によれば、波長分割多重ネットワークにおける光バスの障害復旧方法およびシステムを改善することができるという技術的に有利な効果を奏す。

特に、切替モジュール(switching module)は波長レベルで個別の信号を切り替えるため、選択された信号だけを切り替えることができる。この選択的信号切替を用いて、自身の保護および障害復旧機能を備えるクライエントからの信号だけを切り替えないようすることで、該クライエントからの信号に関する切替衝突(switching conflict)の発生を防ぐことができる。さらに、切替モジュールは必要とされる個所にだけ設置すれば良く、保護および障害復旧資源の節約が可能となる。さらにまた、切替モジュールを追加あるいは移動させることで、追加されたネットワーク構成要素の保護および障害復旧機能を確保することができるため、光ネットワークのアップグレードが容易になる。したがって、選択的信号切替を用いることで本発明は、波長分割多重ネットワークにおける光バスの障害復旧を効率的および効果的に実行することができる。

【0040】さらに本発明によれば、波長分割多重ネットワークにおける光バスの障害復旧のためのシステム構成を改善することができるという技術的に有利な効果を奏す。特に、切替モジュールは波長レベルで個別の信号を切り替える。本システムの性能を改善するために、ライン信号再生装置(line regenerating equipment)およびトランスポンダーを使用することもできる。また、本発明によれば、システムの実現方法(implementation scheme)を改善できるという技術的効果がある。ネットワーク構成要素は、ライン障害を検出するためには、例えば特別な記録やネットワーク装置管理マネージャ(element manager)等を用いて互いに障害検出情報を通信し合う。さらに、障害検出情報を送信するために専用の制御バイトを用いてもよい。また、本発明によれ

ば、装置構成を改善できるという技術的効果がある。切替モジュールは、元のバスと代替バスとのそれぞれに互いに独立した切替部を備えることにより、信頼性の高い構成を実現できる。さらに、システム性能を向上させるために、トランスポンダーや電気的スイッチをシステムに組み込む構成としても良い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態における光ネットワークのブロック図である。

【図2】図1の光ネットワークで使用できる中間(intermediate)ネットワークノードのブロック図である。

【図3】本発明の一実施形態におけるカードシェルフ(card shelf)構成の光バスクロスコネクトのブロック図である。

【図4】図1の光ネットワークで使用できるトランスポンダーを備えたノードのブロック図である。

【図5】図2のネットワークノードと同様なネットワークノードで使用することができるスイッチのブロック図である。

【図6】光スイッチの代わりに使用できる本発明の一実施形態における電気的スイッチのブロック図である。

【図7】図1の光ネットワークで用いることができる光リンクネットワークノードのブロック図である。

【図8】本発明の一実施形態において使用できる2リンクシステムのネットワークノードのブロック図である。

【図10】本発明の一実施形態において保護切替処理を実行する、SONETシステムにおける通信のためのフレーム構成を示す説明図である。

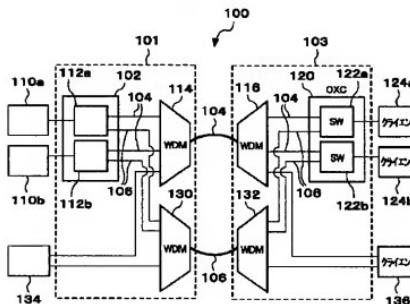
10 【図11】本発明の一実施形態における光リングにおける半バースの障害復旧方法を示すフローチャートである。

【符号の説明】

101…ネットワークノード、102…光クロスコネクト、103…ネットワークノード、104…現用系ファイバ、106…予備系ファイバ、110a…a-b…クライエント、112a…b…スイッチ、114、116…波長分割多重化装置、120…光クロスコネクト、122a…b…スイッチ、124a…b…クライエント、130、132…波長分割多重化装置、134、136…クライエント。

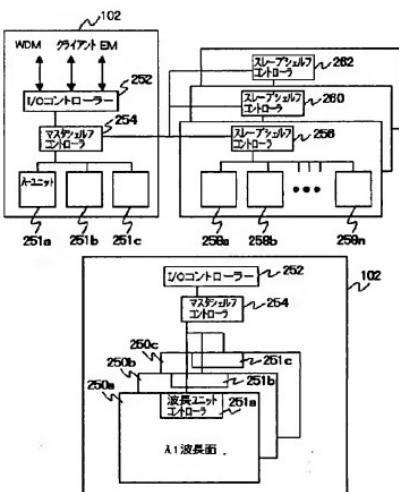
[图 1]

1



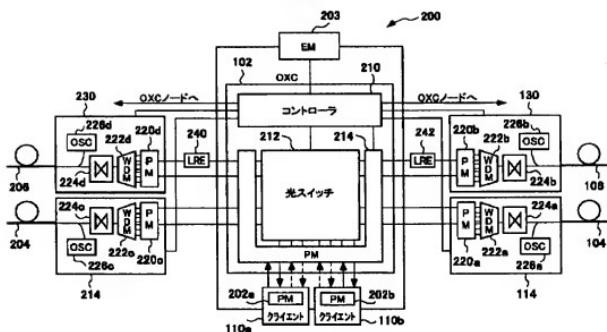
[图3]

3



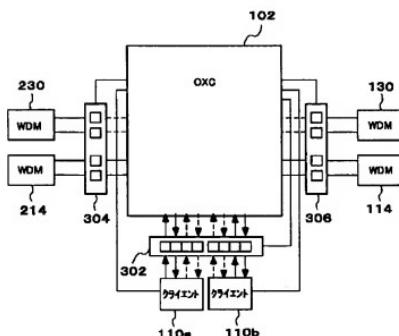
【図2】

図2



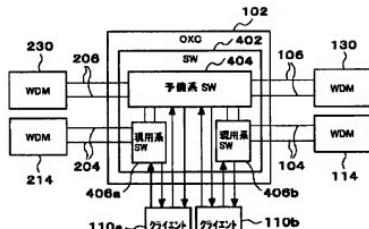
【図4】

図4



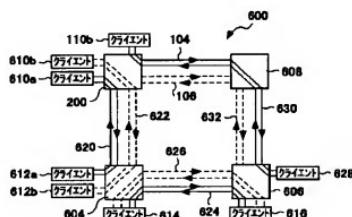
【図5】

図5



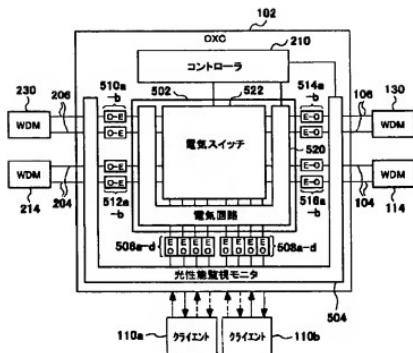
【図7】

図7



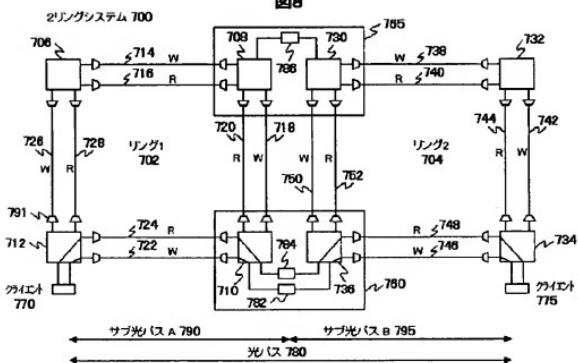
【図6】

図6



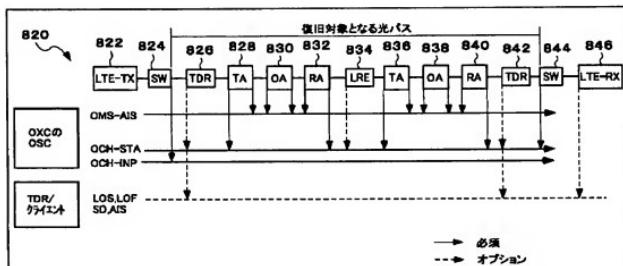
【図8】

図8



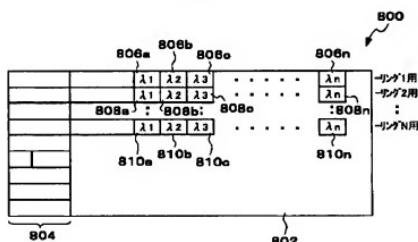
【図9】

図9



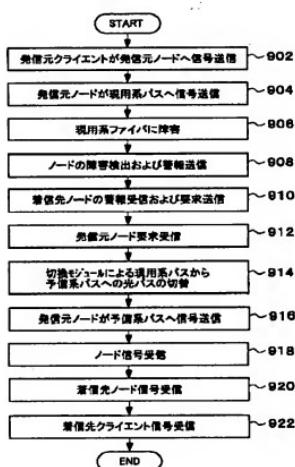
【図10】

図10



【図11】

図11



フロントページの続き

(72)発明者 花谷 昌一

アメリカ合衆国、テキサス州 75081、リ
チャードソン、スイート 400、キャンベ
ル ロード 801 イー。日立テレコム
(アメリカ合衆国) インコーポレイテッド
内

(72)発明者 佐野 博久

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地
株式会社日立製作所中央研究所内